

研究課題番号	5-2004
研究課題名	国際民間航空機関の規制に対応した航空機排出粒子状物質の健康リスク評価と対策提案
研究実施期間	令和2年度～令和4年度
研究機関名	東京都立大学
研究代表者名	竹川 暢之

## 1. 委員の指摘及び提言概要

航空機排ガス由来の UFP（超微小粒子状物質）の健康影響については空港職員や空港周辺の住民に対して大変重要な情報であり、UFP データを実測で得ようとする点も重要である。UFP の化学分析も実施しているので、今後の課題として航空機由来の UFP の毒性評価も視野に入れて検討していただきたい。現時点では、排ガスと実際の曝露との直接的関係があるのか不明確と感じられた。健康リスク評価という研究開発目的を掲げているので、健康リスクの対象者をはっきりさせた方が良いと思う。まずは空港内で働く人の健康評価を行うべきではないかということである。呼吸器疾患の罹患などで健康影響を評価できるので是非、曝露評価と合わせて行ってほしい。

## 2. 採点結果

評価ランク：A